

令和6年度

職能開発科

# 年間指導計画

東京都立練馬特別支援学校

= 内 容 =

国語

社会

数学

理科

情報

外国語

キャリアガイダンスの時間

職業に関する専門教科

音楽

美術

保健体育

職業

家庭

特別活動

総合的な探究の時間

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名		国語	1グループ		
教科・領域等の目標		(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(知) (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。(思) (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表活動</li> <li>・自己紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の要点を捉えて、答えることができる。(知)</li> <li>・相手に伝わるように、伝えたいことを明確にできる。(思)</li> <li>・相手に伝わるように、表現を工夫することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材を活用して、取り組みやすく工夫をする。</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字・語彙</li> <li>・生活漢字</li> <li>・身近な語句</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な語彙の量を増やすことができる。(知)</li> <li>・文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(思)</li> <li>・学習したことを新しい課題の中で使おうとすることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心をもちやすく、わかりやすい内容を取り上げる。</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現：丁寧な言葉遣い</li> <li>・挨拶、敬語、会話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常よく使われる敬語を理解することができる。(知)</li> <li>・日常よく使われる敬語を使うことができる。(思)</li> <li>・日常よく使われる敬語を使い慣れることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の具体的な場面を想定して取り組む。</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現：書くこと</li> <li>・意見文、感想文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図を正しく理解することができる。(知)</li> <li>・目的や意図に沿い、伝えたいことを明確にすることができる。(思)</li> <li>・自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫できる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事など関心をもちやすい内容から取り組む。</li> </ul>
		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現：丁寧な言葉遣い</li> <li>・手紙、葉書の書き方（お礼状、暑中お見舞いなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常よく使われる敬語を、正しく理解することができる。(知)</li> <li>・日常よく使われる敬語を、正しく使うことができる。(思)</li> <li>・日常よく使われる敬語を使って、書いたり話したりできる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入しながら具体的に理解を深める。</li> </ul>
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書活動：学校図書館の活用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の使い方を知ることができる。(知)</li> <li>・学校図書館を使って、図書資料を探すことができる。(思)</li> <li>・学校図書館を使い、学習したことを発表できる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分類の仕方など配架の工夫に気づけるようにする。</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音読・読解：読むこと</li> <li>・詩、短歌、俳句、物語文、説明文、新聞など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を正しく音読し、意味を理解することができる。(知)</li> <li>・作品の要旨を理解することができる。(思)</li> <li>・作品を読み理解したことを基に、考えをまとめられる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心をもちやすい作品を選び、視覚教材を活用して、取り組みやすく工夫する。</li> <li>・ワークシートに記入しながら具体的に理解を深める。</li> </ul>
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現：丁寧な言葉遣い</li> <li>・手紙、葉書の書き方（お礼状、年賀状など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができる。(知)</li> <li>・場面に応じて、日常使われる敬語を使うことができる。(思)</li> <li>・場面に応じて、日常使われる敬語を使い慣れることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とめ、はね、はらいなど手本を示しながら練習をする。</li> </ul>
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書写：毛筆または硬筆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具の特徴を知り、丁寧に正しく書くことができる。(知)</li> <li>・全体のバランスをとりながら、書くことができる。(思)</li> <li>・学習したことを基に、作品を仕上げるすることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材を活用し、親しみやすくなるようにする。</li> </ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古典音読・読解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読を通して、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知)</li> <li>・昔と今の違いや共通点を比較し、検討することができる。(思)</li> <li>・学習したことを基に、感想や意見を発表することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを準備して、見直しをもって取り組めるようにする。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現：書くこと</li> <li>・意見文、感想文など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、話題を集めることができる。(知)</li> <li>・伝えたい内容が明確になるように、構成ができる。(思)</li> <li>・書き方や表現の仕方を工夫して、伝えることができる。(態)</li> </ul>			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	1年・職能開発科		
教科・領域等名	国語		2グループ		
教科・領域等の目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(知)</p> <p>(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。(思)</p> <p>(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(態)</p>				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表活動</li> <li>自己紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の要点を捉えて、答えることができる。(知)</li> <li>相手に伝わるように、伝えたいことを明確にできる。(思)</li> <li>相手に伝わるように、表現を工夫することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚教材を活用して、取り組みやすく工夫をする。</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・語彙</li> <li>生活漢字</li> <li>身近な語句</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な語彙の量を増やすことができる。(知)</li> <li>文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(思)</li> <li>学習したことを新しい課題の中で使おうとすることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心をもちやすく、わかりやすい内容を取り上げる。</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現：丁寧な言葉遣い</li> <li>挨拶、敬語、会話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常よく使われる敬語を理解することができる。(知)</li> <li>日常よく使われる敬語を使うことができる。(思)</li> <li>日常よく使われる敬語を使い慣れることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の具体的な場面を想定して取り組む。</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現：書くこと</li> <li>意見文、感想文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図を正しく理解することができる。(知)</li> <li>目的や意図に沿い、伝えたいことを明確にすることができる。(思)</li> <li>自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫できる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事など関心をもちやすい内容から取り組む。</li> </ul>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現：丁寧な言葉遣い</li> <li>手紙、葉書の書き方(お礼状、暑中お見舞いなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常よく使われる敬語を、正しく理解することができる。(知)</li> <li>日常よく使われる敬語を、正しく使うことができる。(思)</li> <li>日常よく使われる敬語を使って、書いたり話したりできる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記入しながら具体的に理解を深める。</li> </ul>	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動：学校図書館の活用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の使い方を知ることができる。(知)</li> <li>学校図書館を使って、図書資料を探すことができる。(思)</li> <li>学校図書館を使い、学習したことを発表できる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分類の仕方など配架の工夫に気づけるようにする。</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読・読解：読むこと</li> <li>詩、短歌、俳句、物語文、説明文、新聞など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を正しく音読し、意味を理解することができる。(知)</li> <li>作品の要旨を理解することができる。(思)</li> <li>作品を読み理解したことを基に、考えをまとめられる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心をもちやすい作品を選び、視覚教材を活用して、取り組みやすく工夫する。</li> </ul>
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現：丁寧な言葉遣い</li> <li>手紙、葉書の書き方(お礼状、年賀状など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができる。(知)</li> <li>場面に応じて、日常使われる敬語を、使うことができる。(思)</li> <li>場面に応じて、日常使われる敬語を、使い慣れることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに記入しながら具体的に理解を深める。</li> </ul>
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写：毛筆または硬筆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆記用具の特徴を知り、丁寧に正しく書くことができる。(知)</li> <li>全体のバランスをとりながら、書くことができる。(思)</li> <li>学習したことを基に、作品を仕上げるすることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とめ、はね、はらいなど手本を示しながら練習をする。</li> </ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典音読・読解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読を通して、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知)</li> <li>昔と今の違いや共通点を比較し、検討することができる。(思)</li> <li>学習したことを基に、感想や意見を発表することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚教材を活用し、親しみやすくなるようにする。</li> </ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現：書くこと</li> <li>意見文、感想文など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、話題を集めることができる。(知)</li> <li>伝えたい内容が明確になるように、構成ができる。(思)</li> <li>書き方や表現の仕方を工夫して、伝えることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを準備して、見直しをもって取り組めるようにする。</li> </ul>

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	社会		1グループ		
教科・領域等の目標	<p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済の関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解する。（知）</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力を養う。（思）</p> <p>(3) 社会に主体的に関わろうとする態度やよりよい社会を考え学習したことを生かそうとする態度を養うとともに、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として生きることの大切さについての自覚を養う。（態）</p>				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害と安全                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署や警察署の働き</li> <li>・身近な消防車や警察署</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署や警察署について知る。（知）</li> <li>・身近な消防車や警察署の位置を地図で確認し、それぞれの働きについて考えることができる。（思）</li> <li>・消防車や警察署の役割を理解するとともに、安全な暮らしを担う公共施設であることを友達同士で話し合いながら確認することができる。（態）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元においてタブレット端末を使用し、調べ学習を行う。</li> <li>・ワークシート</li> <li>・防災ブック「東京防災」</li> <li>・防災ブック「東京くらし防災」</li> <li>・防災グッズ</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な災害                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の種類や内容</li> <li>・災害時の行動や備え</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害について知る。（知）</li> <li>・災害時の行動や備えを通して、自分の身の守り方を考えることできる。（思）</li> <li>・災害時の行動や備えについて友達同士で意見交換をして、自分とは異なる考えに気づき、自分自身でできることを増やすことができる。（態）</li> </ul>	
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい防災情報の収集</li> <li>・防災グッズの活用</li> <li>・避難訓練、宿泊防災訓練</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい防災情報の収集の仕方を知る。（知）</li> <li>・映像や避難マップ、防災グッズの活用方法を理解し、正しく活用することができる。（思）</li> <li>・避難訓練、宿泊防災訓練等の実践的な防災訓練を通して、災害時を想定して正しく行動しようとしている。（態）</li> </ul>	
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関東地方の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全土と関東地方の位置関係</li> <li>・関東地方の地形や気候</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、日本全土と関東地方の位置関係を知る。（知）</li> <li>・日本全土と関東地方の地形や気候などの違いを調べて、比較し理解することができる。（思）</li> <li>・友達と協力して調べたことをまとめて、発表することができる。（態）</li> </ul>	
後期	2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関東地方の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方の歴史や文化</li> <li>・伝統や遺産</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方における先人の業績、優れた文化遺産などを知る。（知）</li> <li>・歴史や文化を理解するとともに、現代社会と比較することができる。（思）</li> <li>・伝統や遺産など、調べて分かったことを通して、友達と協力して発表することができる。（態）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> <li>・地図「東京都」</li> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方と東京都の位置関係</li> <li>・東京都の地形や気候</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、関東地方と東京都の位置関係を知り、畑の広がり、商業施設、交通機関等の分布が分かる。（知）</li> <li>・関東地方と東京都の地形や気候などの違いを調べて、比較し理解することができる。（思）</li> <li>・友達と協力して調べたことをまとめて、発表することができる。（態）</li> </ul>	
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方の歴史や文化</li> <li>・伝統や遺産</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都における先人の業績、優れた文化遺産などを知る。（知）</li> <li>・東京都の歴史や文化を通して、現代社と比較することができる。（思）</li> <li>・伝統や遺産など、調べて確認したことを通して、友達と協力して発表することができる。（態）</li> </ul>	
	3学期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校周辺の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺の施設</li> <li>・地図マップ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、学校周辺の施設の位置、距離などを知る。（知）</li> <li>・施設の位置を目印にして、地図を確認しながら地理マップを作成することができる。（思）</li> <li>・友達と協力しながら実際に学校周辺を歩行し、地理マップを活用しようとしている。（態）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> <li>・地図「練馬区」</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校周辺の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺の施設</li> <li>・地図マップ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、学校周辺の施設の位置、距離などを知る。（知）</li> <li>・施設の位置を目印にして、地図を確認しながら地理マップを作成することができる。（思）</li> <li>・友達と協力しながら実際に学校周辺を歩行し、地理マップを活用しようとしている。（態）</li> </ul>	
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校周辺の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺の施設</li> <li>・地図マップ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、学校周辺の施設の位置、距離などを知る。（知）</li> <li>・施設の位置を目印にして、地図を確認しながら地理マップを作成することができる。（思）</li> <li>・友達と協力しながら実際に学校周辺を歩行し、地理マップを活用しようとしている。（態）</li> </ul>	
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校周辺の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺の施設</li> <li>・地図マップ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、学校周辺の施設の位置、距離などを知る。（知）</li> <li>・施設の位置を目印にして、地図を確認しながら地理マップを作成することができる。（思）</li> <li>・友達と協力しながら実際に学校周辺を歩行し、地理マップを活用しようとしている。（態）</li> </ul>	

## 令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科						
教科・領域等名	社会		2グループ						
教科・領域等の 目標	<p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済の関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解する。（知）</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力を養う。（思）</p> <p>(3) 社会に主体的に関わろうとする態度やよりよい社会を考え学習したことを生かそうとする態度を養うとともに、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として生きることの大切さについての自覚を養う。（態）</p>								
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等						
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害と安全                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署や警察署の働き</li> <li>・身近な消防車や警察署</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署や警察署について知る。（知）</li> <li>・身近な消防車や警察署の位置を地図で確認し、それぞれの働きについて考えることができる。（思）</li> <li>・消防車や警察署の役割を理解するとともに、安全な暮らしを担う公共施設であることを友達同士で話し合いながら確認することができる。（態）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元においてタブレット端末を使用し、調べ学習を行う。</li> </ul>				
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な災害                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害の種類や内容</li> <li>・災害時の行動や備え</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害について知る。（知）</li> <li>・災害時の行動や備えを通して、自分の身の守り方を考えることできる。（思）</li> <li>・災害時の行動や備えについて友達同士で意見交換をして、自分とは異なる考えに気づき、自分自身でできることを増やすことができる。（態）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・防災ブック「東京防災」</li> </ul>		
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい防災情報の収集</li> <li>・防災グッズの活用</li> <li>・避難訓練、宿泊防災訓練</li> </ul> </li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい防災情報の収集の仕方を知る。（知）</li> <li>・映像や避難マップ、防災グッズの活用方法を理解し、正しく活用することができる。（思）</li> <li>・避難訓練、宿泊防災訓練等の実践的な防災訓練を通して、災害時を想定して正しく行動しようとしている。（態）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ブック「東京くらし防災」</li> <li>・防災グッズ</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関東地方の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全土と関東地方の位置関係</li> <li>・関東地方の地形や気候</li> </ul> </li> </ul>						
	後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関東地方の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方の歴史や文化</li> <li>・伝統や遺産</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方における先人の業績、優れた文化遺産などを知る。（知）</li> <li>・歴史や文化を理解するとともに、現代社会と比較することができる。（思）</li> <li>・伝統や遺産など、調べて分かったことを通して、友達と協力して発表することができる。（態）</li> </ul>				
11			<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方と東京都の位置関係</li> <li>・東京都の地形や気候</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、関東地方と東京都の位置関係を知り、畑の広がり、商業施設、交通機関等の分布が分かる。（知）</li> <li>・関東地方と東京都の地形や気候などの違いを調べて、比較し理解することができる。（思）</li> <li>・友達と協力して調べたことをまとめて、発表することができる。（態）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図「東京都」</li> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> </ul>			
12			<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の歴史                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方の歴史や文化</li> <li>・伝統や遺産</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都における先人の業績、優れた文化遺産などを知る。（知）</li> <li>・東京都の歴史や文化を通して、現代社と比較することができる。（思）</li> <li>・伝統や遺産など、調べて確認したことを通して、友達と協力して発表することができる。（態）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	
3学期		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校周辺の地理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺の施設</li> <li>・地図マップ</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を活用して、学校周辺の施設の位置、距離などを知る。（知）</li> <li>・施設の位置を目印にして、地図を確認しながら地理マップを作成することができる。（思）</li> <li>・友達と協力しながら実際に学校周辺を歩行し、地理マップを活用しようとしている。（態）</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図「練馬区」</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図「練馬区」</li> <li>・ワークシート</li> </ul>					
	3								

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科				
教科・領域等名	数学		クラス・グループ				
教科・領域等の目標	(1) 生活に必要な数量・図形等の基本的な概念や性質を知り、具体例を通して処理や計算を行うことができる。(知) (2) 数量や計算、図形といった観点から様々な事象を数学的に考えることで、数学的な表現の幅を広げ学んだことを活用できる。(思) (3) 日常生活の具体例を用いて、学んだことを数学的な見方や考え方に当てはめて、理解・解決しようとする態度を養う。(態)						
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等				
前期	1学期	4	○整数及び少数の表し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10倍、100倍1000倍、10分の1の大きさの数及びその表し方の理解を深めることができる。(知)</li> <li>・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察することができる。(思)</li> <li>・それらを計算などに有効に活かそうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを用いながら、計算の順番や仕方を理解できるようにする。</li> <li>・教科書</li> </ul>		
		5	○概数			<ul style="list-style-type: none"> <li>・四捨五入について知ることができる。(知)</li> <li>・日常の事象における場面に着目し目的に合った数の処理の仕方を考える。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・電卓</li> </ul>
		6	○整数の加法及び減法				
		7					
	9	○整数の乗除法 ・乗法 ・除法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。(知)</li> <li>・数量の関係に着目し起算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりするとともに、その性質を活用して計算を工夫したり計算を確かめたりすることができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> </ul>			
後期	2学期	10	○図形 ・平面 ・立体 ・平面図形の面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。(知)</li> <li>・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見出すとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角定規セット</li> <li>・コンパス</li> <li>・タブレット端末</li> </ul>		
		11					
		12					
	3学期	1	○変化と関係 ・伴って変わる二つの数量 ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。(知)</li> <li>・伴って変わる二つの数量を見出して、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・表計算ソフト</li> </ul>		
		2	○データの収集とその分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読みだりすることができる。(知)</li> <li>・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>			
		3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科				
教科・領域等名	数学		2グループ				
教科・領域等の目標	(1) 生活に必要な数量・図形等の基本的な概念や性質を知り、具体例を通して処理や計算を行うことができる。(知) (2) 数量や計算、図形といった観点から様々な事象を数学的に考えることで、数学的な表現の幅を広げ学んだことを活用できる。(思) (3) 日常生活の具体例を用いて、学んだことを数学的な見方や考え方に当てはめて、理解・解決しようとする態度を養う。(態)						
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等				
前期	1学期	4	○整数及び少数の表し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10倍、100倍1000倍、10分の1の大きさの数及びその表し方の理解を深めることができる。(知)</li> <li>・数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察することができる。(思)</li> <li>・それらを計算などに有効に活かそうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを用いながら、計算の順番や仕方を理解できるようにする。</li> <li>・教科書</li> </ul>		
		5	○概数			<ul style="list-style-type: none"> <li>・四捨五入について知ることができる。(知)</li> <li>・日常の事象における場面に着目し目的に合った数の処理の仕方を考える。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・電卓</li> </ul>
		6	○整数の加法及び減法				
		7					
	9	○整数の乗除法 ・乗法 ・除法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法・除法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。(知)</li> <li>・数量の関係に着目し起算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりするとともに、その性質を活用して計算を工夫したり計算を確かめたりすることができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>				
後期	2学期	10	○図形 ・平面 ・立体 ・平面図形の面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。(知)</li> <li>・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見出すとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角定規セット</li> <li>・コンパス</li> <li>・タブレット端末</li> </ul>		
		11					
		12					
	3学期	1	○変化と関係 ・伴って変わる二つの数量 ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。(知)</li> <li>・伴って変わる二つの数量を見出して、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・表計算ソフト</li> </ul>		
		2	○データの収集とその分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読みだりすることができる。(知)</li> <li>・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。(思)</li> <li>・それらを学習活動や日常生活に活かそうとする。(態)</li> </ul>			
		3					



令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	理科	クラス・グループ	1グループ		
教科・領域等の目標	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(知) (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくり出す力を養う。(思) (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。(知)</li> <li>血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。(知)</li> <li>食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。(知)</li> <li>体内には、生命活動を維持するために様々な臓器があることを理解している。(知)</li> <li>酸素と二酸化炭素を出し入れする仕組みをいろいろな方法で調べたり、体のどこでどのように酸素と二酸化炭素を出し入れするのか話し合ったりして、課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>酸素が体の中を運ばれる仕組みをいろいろな方法で調べたり、どのような仕組みで体のどこへ運ばれるのか話し合ったりして、課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>消化と吸収の仕組みをいろいろな方法で調べたり、食べ物は体の中でどのように消化され吸収されて運ばれるか、結果を基に話し合ったりして、課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活にいかそうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を見出し、予想や仮説を立て、観察、実験し、結果を整理、考察して、結論を出していくようにする。</li> <li>(課題の把握・発見 ↓ 課題の探究・追究 ↓ 課題の解決)</li> <li>教科書</li> <li>実験器具</li> <li>ワークシート</li> <li>タブレット端末</li> <li>映像資料</li> </ul>	
		5			
		6			
		7			
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○てこのはたらき</li> <li>・てこの3つの点を知り、力点作用点を変えたときの手ごたえを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てこの規則性について、器具を正しく扱いながら実験を行ったり観察したり調べたりして、得られた結果を適切に記録することができる。(知)</li> </ul>		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てこが水平になってつり合うときのきまりを調べる。</li> <li>・てこのはたらきを利用した道具</li> <li>・つくってみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てこがつり合う時には、力を加える位置や力の大きさに規則性があることを理解している。(知)</li> <li>・身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを知る、理解している。(知)</li> <li>・てこの規則性について、力を加える位置や力の大きさとてこのはたらきとの関係について観察や実験を行い、結果を基に話し合ったり、解決したりできる。(思)</li> <li>・てこの規則性について学んだことを学習や生活にいかそうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を見出し、予想や仮説を立て、観察、実験し、結果を整理、考察して、結論を出していくようにする。</li> <li>(課題の把握・発見 ↓ 課題の探究・追究 ↓ 課題の解決)</li> </ul>
		11			
		12			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水溶液の性質</li> <li>・水溶液に溶けているもの</li> <li>・酸性、中性、アルカリ性の水溶液</li> <li>・金属を溶かす水溶液</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。(知)</li> <li>・水溶液には、酸性、アルカリ性および中性のものがあることを理解している。(知)</li> <li>・水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。(知)</li> <li>・リトマス紙の使い方を知り、水溶液に付けたときのリトマス紙の色の変化を比べて調べたり、結果をもとに話し合ったりして課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>・塩酸のはたらきや金属を入れるとどうなるかを調べ、結果をもとに話し合ったりして課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>・水溶液の性質や働きについての事物、現象に進んで関わりながら問題解決しようとしている。(態)</li> <li>・水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>実験器具</li> <li>ワークシート</li> <li>タブレット端末</li> <li>映像資料</li> </ul>
		2			
3					

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	理科	クラス・グループ	2グループ		
教科・領域等の目標	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(知) (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくり出す力を養う。(思) (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解している。(知)</li> <li>血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解している。(知)</li> <li>食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。(知)</li> <li>体内には、生命活動を維持するために様々な臓器があることを理解している。(知)</li> <li>酸素と二酸化炭素を出し入れする仕組みをいろいろな方法で調べたり、体のどこでどのように酸素と二酸化炭素を出し入れするのか話し合ったりして、課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>酸素が体の中を運ばれる仕組みをいろいろな方法で調べたり、どのような仕組みで体のどこへ運ばれるのか話し合ったりして、課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>消化と吸収の仕組みをいろいろな方法で調べたり、食べ物は体の中でどのように消化され吸収されて運ばれるか、結果を基に話し合ったりして、課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>体のつくりと働きについて学んだことを学習や生活にいかそうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を見出し、予想や仮説を立て、観察、実験し、結果を整理、考察して、結論を出していくようにする。</li> </ul> (課題の把握・発見 ↓ 課題の探究・追究 ↓ 課題の解決)	
		5			
		6			
		7			
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○てこのはたらき</li> <li>・てこの3つの点を知り、力点作用点を変えたときの手ごたえを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てこの規則性について、器具を正しく扱いながら実験を行ったり観察したり調べたりして、得られた結果を適切に記録することができる。(知)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>実験器具</li> <li>ワークシート</li> <li>タブレット端末</li> <li>映像資料</li> </ul>	
2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てこが水平になってつり合うときのきまりを調べる。</li> <li>・てこのはたらきを利用した道具</li> <li>・つくってみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てこがつり合う時には、力を加える位置や力の大きさに規則性があることを理解している。(知)</li> <li>・身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを知る、理解している。(知)</li> <li>・てこの規則性について、力を加える位置や力の大きさとてこのはたらきとの関係について観察や実験を行い、結果を基に話し合ったり、解決したりできる。(思)</li> <li>・てこの規則性について学んだことを学習や生活にいかそうとしている。(態)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を見出し、予想や仮説を立て、観察、実験し、結果を整理、考察して、結論を出していくようにする。</li> </ul> (課題の把握・発見 ↓ 課題の探究・追究 ↓ 課題の解決)
	11				
	12				
後期	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。(知)</li> <li>・水溶液には、酸性、アルカリ性および中性のものがあることを理解している。(知)</li> <li>・水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。(知)</li> <li>・リトマス紙の使い方を知り、水溶液に付けたときのリトマス紙の色の変化を比べて調べたり、結果をもとに話し合ったりして課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>・塩酸のはたらきや金属を入れるとどうなるかを調べ、結果をもとに話し合ったりして課題を解決しようとしている。(思)</li> <li>・水溶液の性質や働きについての事物、現象に進んで関わりながら問題解決しようとしている。(態)</li> <li>・水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>実験器具</li> <li>ワークシート</li> <li>タブレット端末</li> <li>映像資料</li> </ul>	
		2			
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・機能開発科			
教科・領域等名	情報		1グループ			
教科・領域等の目標	(1) コンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付ける。(知) (2) 問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切に活用する力を養う。(思) (3) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(態)					
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PC基本操作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マウス</li> <li>・キーボード</li> <li>・ログイン、ログアウト</li> <li>・ソフトウェア</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部の名称や基本的な使い方を知る。(知)</li> <li>・目的に応じたソフトウェアを選択することができる。(思)</li> <li>・入力練習を通じてより、ミスなく正確に入力して、よりよいスコアを出そうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタを使用し、教員の操作が分かるように表示をする。</li> <li>・入力練習はタイピングソフトを用いて、文字数やスコアを表示し、意欲的に取り組めるようにする。</li> </ul>	
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワープロソフトの基本操作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字入力</li> <li>・写真添付</li> <li>・図形入力</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ字入力で、文字入力の基本的な操作方法を知る。(知)</li> <li>・タブレット端末の写真データの貼り方を理解し、正しいアプリケーションソフトを選択することができる。(思)</li> <li>・見やすさや、配色をよく考え、より伝わりやすい掲示物を作成しようとしている。(態)</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表計算ソフトの基本操作について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ入力</li> <li>・表計算の基本操作</li> <li>・グラフ作成</li> </ul> </li> </ul>			
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気や気温など身近なデータを表計算ソフトに正しく入力することができる。(知)</li> <li>・見やすいグラフを選択することができる。(思)</li> <li>・見やすさや、配色をよく考え、より伝わりやすい掲示物を作成しようとしている。(態)</li> </ul>			
	9					
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統合型学習支援サービス（office365）の使い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・onedrive</li> <li>・foams</li> <li>・ミーティング</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合型学習支援サービスの機能（office365）を知る。(知)</li> <li>・目的に応じたソフトウェアを選択することができる。(思)</li> <li>・課題を解決するために、適切なソフトウェアを選択しようとする。積極的に活用しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のアカウントを用いて、一人一台端末でも活用できるように、指導をする。</li> </ul>	
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報検索の方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・検索ソフト</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に関する、基本的な法規や制度、情報セキュリティの重要性を理解することができる。(知)</li> <li>・情報に関する、基本的な法規や制度、マナーの意義、情報社会における個人の役割や責任を考慮することができる。(思)</li> <li>・必要な情報に検索ソフトを用いて収集しようとしている。(態)</li> </ul>
		12				
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報マナーとモラル                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ</li> <li>・SNS</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末や携帯電話といった情報機器の正しい活用方法や、インターネットの危険性やセキュリティの重要性を知り、正しい扱い方を知ることができる。(知)</li> <li>・SNSの利便性や危険性を知り、コミュニケーション手段の望ましい活用方法を考えることができる。(思)</li> <li>・情報モラルやマナーを意識した活用方法理解し、安全に活用することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体絵来な事例や動画を用いて、望ましくない活用を紹介して、インターネットやSNSの危険性や責任を分かりやすく説明する。</li> </ul>	
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビジネス文書の作成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロソフト</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロソフトを用いて、見本と同様の文章で書類の作成ができる。(知)</li> <li>・フォントサイズや行間、スペースなど、見本と同様になるよう、確認しながら正しく書類の作成をすることができる。(思)</li> <li>・不明な点があれば、自分から質問や相談をするなど、正しく書類を作成しようとしている。(態)</li> </ul>
3						

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・機能開発科		
教科・領域等名	情報		2グループ		
教科・領域等の目標	(1) コンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付ける。(知) (2) 問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切に活用する力を養う。(思) (3) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PC基本操作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マウス</li> <li>・キーボード</li> <li>・ログイン、ログアウト</li> <li>・ソフトウェア</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部の名称や基本的な使い方を知る。(知)</li> <li>・目的に応じたソフトウェアを選択することができる。(思)</li> <li>・入力練習を通じてより、ミスなく正確に入力して、よりよいスコアを出そうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタを使用し、教員の操作が分かるように表示をする。</li> <li>・入力練習はタイピングソフトを用いて、文字数やスコアを表示し、意欲的に取り組めるようにする。</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワープロソフトの基本操作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字入力</li> <li>・写真添付</li> <li>・図形入力</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ字入力で、文字入力の基本的な操作方法を知る。(知)</li> <li>・タブレット端末の写真データの貼り方を理解し、正しいアプリケーションソフトを選択することができる。(思)</li> <li>・見やすさや、配色をよく考え、より伝わりやすい掲示物を作成しようとしている。(態)</li> </ul>	
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表計算ソフトの基本操作について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ入力</li> <li>・表計算の基本操作</li> <li>・グラフ作成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気や気温など身近なデータを表計算ソフトに正しく入力することができる。(知)</li> <li>・見やすいグラフを選択することができる。(思)</li> <li>・見やすさや、配色をよく考え、より伝わりやすい掲示物を作成しようとしている。(態)</li> </ul>	
		7			
	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタを使用し、手順を示すように表示をする。</li> <li>・印刷をして成果物は紙で確認できるようにする。</li> </ul>	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統合型学習支援サービス（office365）の使い方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・onedrive</li> <li>・foams</li> <li>・ミーティング</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合型学習支援サービスの機能（office365）を知る。(知)</li> <li>・目的に応じたソフトウェアを選択することができる。(思)</li> <li>・課題を解決するために、適切なソフトウェアを選択しようとする。積極的に活用しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のアカウントを用いて、一人一台端末でも活用できるように、指導をする。</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報検索の方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・検索ソフト</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に関する、基本的な法規や制度、情報セキュリティの重要性を理解することができる。(知)</li> <li>・情報に関する、基本的な法規や制度、マナーの意義、情報社会における個人の役割や責任を考慮することができる。(思)</li> <li>・必要な情報に検索ソフトを用いて収集しようとしている。(態)</li> </ul>	
		12			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報マナーとモラル                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ</li> <li>・SNS</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末や携帯電話といった情報機器の正しい活用方法や、インターネットの危険性やセキュリティの重要性を知り、正しい扱い方を知ることができる。(知)</li> <li>・SNSの利便性や危険性を知り、コミュニケーション手段の望ましい活用方法を考えることができる。(思)</li> <li>・情報モラルやマナーを意識した活用方法理解し、安全に活用することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体絵来な事例や動画を用いて、望ましくない活用を紹介して、インターネットやSNSの危険性や責任を分かりやすく説明する。</li> </ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビジネス文書の作成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロソフト</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロソフトを用いて、見本と同様の文章で書類の作成ができる。(知)</li> <li>・フォントサイズや行間、スペースなど、見本と同様になるよう、確認しながら正しく書類の作成をすることができる。(思)</li> <li>・不明な点があれば、自分から質問や相談をするなど、正しく書類を作成しようとしている。(態)</li> </ul>	
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・機能開発科	
教科・領域等名	外国語	クラス・グループ	1グループ	
教科・領域等の目標	(1) 外国語の日常生活に関する語句や基本的な表現を学習し、英語の基礎の習得を図る。(知) (2) 状況や場面に応じた会話、自分が伝えたい事に適した語句を用いて表現する。(思) (3) 学習した語句や表現を用いて積極的に言語活動を行い、主体的に外国語でコミュニケーションをしようとする態度を育てる。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルファベット、ローマ字</li> <li>・大文字、小文字、ヘボン式</li> <li>・フォニックス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四本の補助線を用いたワークシートを活用する。</li> <li>・タブレット端末や視覚的な情報を活用して、題材への興味・関心を高める。</li> <li>・定型文や表現方法の確認を丁寧に行う。</li> <li>・必要に応じて、ペアワークやグループワークを取り入れる。</li> <li>・適宜、ワークシートを活用して読み書きの練習機会を設ける。</li> <li>・教科書CDを用いて英語の音声を繰り返し聞く機会を設ける。</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶</li> <li>・Hello. Good morning. など</li> <li>・How are you? など</li> </ul>	
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介</li> <li>・名前、好きなことなど</li> </ul>	
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な英単語</li> <li>・曜日、月、数、食べ物など</li> <li>・買い物、道案内、学校生活など</li> </ul>	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit1</li> <li>・I'm ~. You are ~.</li> </ul>		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit2</li> <li>・This is ~. That is ~.</li> </ul>	
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit3</li> <li>・What's ~? - It's ~.</li> </ul>	
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit4</li> <li>・Is it ~?</li> </ul>	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit5</li> <li>・How many ~?</li> </ul>	
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit6</li> <li>・Are you ~?</li> </ul>	
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit7</li> <li>・I/You like ~.</li> </ul>	
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit8</li> <li>・Do you like ~?</li> </ul>	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・機能開発科	
教科・領域等名	外国語	クラス・グループ	2グループ	
教科・領域等の目標	(1) 外国語の日常生活に関する語句や基本的な表現を学習し、英語の基礎の習得を図る。(知) (2) 状況や場面に応じた会話、自分が伝えたい事に適した語句を用いて表現する。(思) (3) 学習した語句や表現を用いて積極的に言語活動を行い、主体的に外国語でコミュニケーションをしようとする態度を育てる。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アルファベット、ローマ字</li> <li>・大文字、小文字、ヘボン式</li> <li>・フォニックス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四本の補助線を用いたワークシートを活用する。</li> <li>・タブレット端末や視覚的な情報を活用して、題材への興味・関心を高める。</li> <li>・定型文や表現方法の確認を丁寧に行う。</li> <li>・必要に応じて、ペアワークやグループワークを取り入れる。</li> <li>・適宜、ワークシートを活用して読み書きの練習機会を設ける。</li> <li>・教科書CDを用いて英語の音声を繰り返し聞く機会を設ける。</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶</li> <li>・Hello. Good morning. など</li> <li>・How are you? など</li> </ul>	
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介</li> <li>・名前、好きなことなど</li> </ul>	
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な英単語</li> <li>・曜日、月、数、食べ物など</li> <li>・買い物、道案内、学校生活など</li> </ul>	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit1</li> <li>・I'm ~. You are ~.</li> </ul>		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit2</li> <li>・This is ~. That is ~.</li> </ul>	
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit3</li> <li>・What's ~? - It's ~.</li> </ul>	
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit4</li> <li>・Is it ~?</li> </ul>	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit5</li> <li>・How many ~?</li> </ul>	
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit6</li> <li>・Are you ~?</li> </ul>	
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit7</li> <li>・I/You like ~.</li> </ul>	
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unit8</li> <li>・Do you like ~?</li> </ul>	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	1年・職能開発科		
教科・領域等名	キャリアガイダンス	クラス・グループ	1組・2組		
教科・領域等の目標	(1) 自分の能力や適性の理解を深めながら、社会人として必要なルールやマナーについて知り、基本的なコミュニケーションスキルを理解する。(知) (2) 自己理解を深めながら、社会生活を送るうえでの課題に気づき、解決策を考え改善しようとする力を養う。(思) (3) 将来の社会参加への見通しをもち、自分のキャリアについてより良くしようとする態度を養う。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○学校生活のきまりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活のきまりを知る。(知)</li> <li>何故このようなルールが必要なのか等を考え理解を深める。(思)</li> <li>日々の学校生活で学校生活のきまりを守りながら生活しようとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末</li> <li>教科書</li> <li>キャリアパスポート</li> <li>ワークシート</li> <li>ICT機器</li> <li>DVD教材</li> <li>職場見学日誌</li> </ul>
		5	○自分のことを知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の長所、短所等を知る。(知)</li> <li>自分の長所を仕事にどのようにいかせるか、また自分の短所をどのようにすれば改善できるか考える。(思)</li> <li>日常生活の中で長所を更に伸ばすように、短所を改善できるように主体的に取り組もうとする。</li> </ul>	
		6	○社会人としてのマナー、ルールについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人として身に付けるべきルールやマナーを知る。(知)</li> <li>高校生と社会人とを比較し、の違いを考え、何故ルールやマナーを守る必要があるか等を考える。(思)</li> <li>現在の生活で取り組める内容を考え、実践してみる。(態)</li> </ul>	
		7	○適切なコミュニケーションについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話、SNS、インターネットを含めた様々なコミュニケーションについて知る。(知)</li> <li>アサーションについて考える。自分も相手も大切にしたい表現方法などについて考える。(思)</li> <li>日々の生活の中でよりよい自己表現等について実践しようとする。(態)</li> </ul>	
	9	○勤労の意義 働く意味について考えよう ・仕事とは? ・職場見学 ・現場実習激励会	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く意義や世の中には様々な職種や仕事内容があることを知る。(知)</li> <li>何故仕事をするのかを理解し、自分の特徴に合った進路先を考える。(思)</li> <li>学習した内容から、自分の進路先について考えをまとめようとしている。(態)</li> </ul>		
後期	2学期	10	○職業 ビジネスマナーについて ・立ち振る舞い ・仕事における報連相 ・メモの取り方 ・会話の基本、伝え方 ・電話対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事を進める上で必要な技能について知る。(知)</li> <li>状況に応じて適切な言葉づかいや受け答えができる。(思)</li> <li>日常生活の中で学習した技能を意識して行動しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末</li> <li>教科書</li> <li>キャリアパスポート</li> <li>ワークシート</li> <li>ICT機器</li> <li>DVD教材</li> <li>実習日誌 他</li> </ul>
		11	○産業現場等における実習 インターンシップに関する学習 ※職業とリンク	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験する会社の概要を知る。(知)</li> <li>体験に向け、重点して頑張りたい自分の目標を考える。(思)</li> <li>目標に合わせて、行動や準備を進めようとしている。(態)</li> </ul>	
		12	・会社調べ ・目標と振り返り ・実習日誌の記入 ・面接練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験した内容を踏まえ、自身の課題を整理しようとしている。(態)</li> </ul>	
	3学期	1	○自己理解を深めよう ・自己プロフィール、未来予想図の振り返り、更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間学習した内容を振り返る。(知)</li> <li>学習した内容を基に、自己プロフィールを作成する。(思)</li> <li>自己の課題や強みを整理することができる。(態)</li> </ul>	
		2			
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	職業に関する専門教科	クラス・グループ	食品		
教科・領域等の目標	(1) 食品に関わる業務に関することについて理解するとともに、関連する技能を身に付けるようにする。(知) (2) 食品に関わる業務における課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。(思) (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品で取り扱う用具や技能など業務に関する基本的な知識や技能を身に付ける。(知)</li> <li>食品に関わる業務において、顧客のニーズに応じたサービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスのための工夫について考え、表現する。(思)</li> <li>食品に関わる業務の内容と特徴などについて自ら学び、業務に主体的かつ協働的に取り組む。(態)</li> <li>手洗いや消毒、食中毒、食品衛生対策などの基本を知る。(知)</li> <li>身だしなみ、作業場所の汚れに注意を払い、適切な環境を維持しながら活動する。(思)</li> <li>実習室内の所作で、実践する。(態)</li> <li>用具の基本的な取り扱いと手順を身につける。(知)</li> <li>状況に応じた用具の取り扱いができる。(思)</li> <li>取り組みについての課題を発見し、改善しようとする。(態)</li> <li>食品衛生に基づき、カフェの環境整備や道具、機材の管理等を理解する。(知)</li> <li>場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。(思)</li> <li>自主的に場に応じて適切なコミュニケーションを図ることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末を活用し、授業の流れや目標を毎時意識できるようにする。</li> <li>端末を活用して効果的に情報を伝えられるようにする。</li> <li>特別専門講師の指導や助言を積極的に引き出せるよう授業の雰囲気づくりを心がける。</li> <li>必要に応じ、その場で指示内容やルール理解、課題を確認するように言葉かけを行う。</li> <li>課題の改善を効率良く行うためにクラス担任との連携を図る。</li> </ul>	
		5			○衛生管理について
		6			○調理の工程について
		7			○接客店舗管理の基本について
	9	○分業分担による製造とカフェの運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>協調、コスト、改善、時間、目標、品質、納期などのサービスの基本を理解する。(知)</li> <li>食品衛生やルールを守り、活動する。(思)</li> <li>様々な業務フローを経験し、全体を把握しながら活動する。(態)</li> </ul>		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品で取り扱う用具や技能など業務に関する基本的な知識や技能を身に付ける。(知)</li> <li>食品に関わる業務において、顧客のニーズに応じたサービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスのための工夫について考え、表現する。(思)</li> <li>食品に関わる業務の内容と特徴などについて自ら学び、業務に主体的かつ協働的に取り組む。(態)</li> <li>手洗いや消毒、食中毒、食品衛生対策などの基本を知る。(知)</li> <li>身だしなみ、作業場所の汚れに注意を払い、適切な環境を維持しながら活動する。(思)</li> <li>実習室内の所作で、実践する。(態)</li> <li>用具の基本的な取り扱いと手順を身につける。(知)</li> <li>状況に応じた用具の取り扱いができる。(思)</li> <li>取り組みについての課題を発見し、改善しようとする。(態)</li> <li>食品衛生に基づき、カフェの環境整備や道具、機材の管理等を理解する。(知)</li> <li>場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。(思)</li> <li>自主的に場に応じて適切なコミュニケーションを図ることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末を活用し、授業の流れや目標を毎時意識できるようにする。</li> <li>端末を活用して効果的に情報を伝えられるようにする。</li> <li>特別専門講師の指導や助言を積極的に引き出せるよう授業の雰囲気づくりを心がける。</li> <li>必要に応じ、その場で指示内容やルール理解、課題を確認するように言葉かけを行う。</li> <li>課題の改善を効率良く行うためにクラス担任との連携を図る。</li> </ul>	
		11			○衛生管理について
		12			○調理の工程について
	3学期	1	○接客店舗管理の基本について	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品衛生に基づき、カフェの環境整備や道具、機材の管理等を理解する。(知)</li> <li>場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。(思)</li> <li>自主的に場に応じて適切なコミュニケーションを図ることができる。(態)</li> <li>協調、コスト、改善、時間、目標、品質、納期などのサービスの基本を理解する。(知)</li> <li>食品衛生やルールを守り、活動する。(思)</li> <li>様々な業務フローを経験し、全体を把握しながら活動する。(態)</li> </ul>	
			2		○分業分担による製造とカフェの運営について
			3		



令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科	
教科・領域等名	職業に関する専門教科		クラス・グループ	
教科・領域等の目標	(1) 物流に関することについて理解するとともに、関連する技能を身に付けるようにする。(知) (2) 物流における課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。(思) (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロジスティクスコースの概要を知る。(知)</li> <li>・ 物流実習室でのルール、身だしなみのポイントを理解する。(思)</li> <li>・ 依頼内容など分らない時の対応方法に自分から対応することができる。(態)</li> <li>・ 教室にある物品の名前や用途を知る。(知)</li> <li>・ 依頼書の内容を理解し、必要な物品の用意や、点検確認ができる。(思)</li> <li>・ 会社内におけるコミュニケーション方法、ルールや作業手順を理解し遵守しようとする。(態)</li> <li>・ オリコン、台車、ハンドフォークの安全な使い方が分かる。(知)</li> <li>・ teams を活用し、連絡を取りながら作業の報告、連絡、相談ができる。(思)</li> <li>・ 他者とコミュニケーションを取りながら、報告、連絡、相談をしながら、作業場面でチームの中で必要な役割を見つけることができる。(態)</li> <li>・ 印刷機の使い方を理解する。(知)</li> <li>・ 依頼内容に応じて、印刷数や丁合方法、冊数など確認をしながら進行管理ができる。(思)</li> <li>・ 納期に合わせて、作業内容を変更することや、課題に対して自分の意見を伝えることができる。(態)</li> <li>・ ダンボール組み立てや商品の梱包など、サイズに応じた商品のダンボールの選択や、丁寧な商品の扱いをすることができる。(思)</li> <li>・ 他者とコミュニケーションを取りながら、業務の進行管理や、仕事状況に応じてチームの中で必要な役割を自分で見つけることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT 機器でコースの概要を視覚的に提示する</li> <li>・ 配置場所を考え、教室環境を把握できるようにする。</li> <li>・ 台車等の操作や紙の扱いでは、教員が手本を見せ、やり方を説明したのちに練習を繰り返し行うことで安全の意識を高める。</li> <li>・ チームで協力する態度を育てるための場面設定を作り、繰り返し行う。</li> <li>・ 作業を受注して行き、作業時間・順番・分担等を生徒自身で決めることで、主体的な態度を養えるようにする。</li> </ul>
		5		
		6		
		7		
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリコン、台車、カゴ車、ハンドフォークの操作の基本</li> <li>○印刷周辺諸作業に必要な用品、機器の操作（はさみ、定規、ステッパ、カッターナイフ、印刷機など）</li> <li>○梱包、発送準備</li> </ul>		
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実務業務における各種目共通のねらい】</li> <li>・ 各作業種の手順や、使用する情報機器や道具、文具の名称や安全な使用方法を覚える。(知)</li> <li>・ 場に応じた正しい言葉遣いを理解する。(知)</li> <li>・ 依頼内容を理解し、検品をすることができる。(知)</li> <li>・ 様々な場面に即したルールや約束事を守りながら活動できる。(思)</li> <li>・ 安全を意識しながら取り組むことができる。(思)</li> <li>・ 基準に沿って検品を行い、汚れや破れ、発送先などミスに気付いて教員に報告や相談をすることができる。(思)</li> <li>・ 指示されたことを理解して対応することができる。(思)</li> <li>・ より確実にできる検品方法を考え工夫して進めることができる。(態)</li> <li>・ 決められた時間、休まずに集中して作業に取り組むことができる。(態)</li> <li>・ 意欲的に作業に取り組み、手順の定着を図る。(態)</li> <li>・ 納品期日を意識しながら協力して作業に取り組むことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じ、その場で指示内容やルール理解、課題を確認するように言葉かけを行う。</li> <li>・ 作業評価シートを活用しながら、生徒の活動を評価し、個々の課題を明確にする。</li> <li>・ 課題把握のために態度のチェックリストを用いて課題を把握し担任と連携を図る。</li> </ul>
		11		
		12		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○梱包、発送準備</li> </ul>	
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科	
教科・領域等名	職業に関する専門教科	クラス・グループ	清掃	
教科・領域等の目標	(1) 清掃業務に関することについて理解するとともに、関連する技能を身に付けるようにする。(知) (2) 清掃業務における課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。(思) (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。(態)			
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃で取り扱う用具や技能など業務に関する基本的な知識や技能を身に付ける。(知)</li> <li>・清掃業務において、顧客のニーズに応じた清掃サービスの提供のために必要な課題を発見し、よりよいサービスのための工夫について考え、表現する。(思)</li> <li>・清掃業務の内容と特徴などについて自ら学び、業務に主体的かつ協働的に取り組む。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を活用し、授業の流れや目標を毎時意識できるようにする。</li> <li>・端末を活用して効果的に情報を伝えられるようにする。</li> <li>・特別専門講師の指導や助言を積極的に引き出せるよう授業の雰囲気づくりを心がける。</li> </ul>
		5		
		6		
		7		
後期	2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の基本的な取り扱いと手順を身に付ける。(知)</li> <li>・清掃場所の状況に応じた用具の取り扱いができる。(思)</li> <li>・取り組みについての課題を発見し、改善しようとする。(態)</li> </ul> <p>【実技における各種目共通のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各作業種の手順や、使用する用具の名称や使用方法を覚える。(知)</li> <li>・様々な場面に即したルールや約束事を守りながら活動できる。(思)</li> <li>・安全を意識しながら取り組むことができる。(思)</li> <li>・場に応じた適切な言葉遣いを身につける。(思)</li> <li>・汚れを確認しながら清掃することができる。(思)</li> <li>・資機材の置き場や動線等を意識して周りに配慮しながら作業に取り組むことができる。(思)</li> <li>・手順通りに進めることができ、正しい使用方法で用具を扱うことができる。(思)</li> <li>・学習を振り返り、正しい資機材の扱い方を見本や言葉で示しながら相手に伝えることができる。(思)</li> <li>・指示されたことを理解して対応することができる。(思)</li> <li>・資機材の置き場や動線を意識して効率よく作業することができる。(思)</li> <li>・決められた時間、姿勢や動作を崩さず作業に取り組むことができる。(思)</li> <li>・決められた時間、休まずに集中して作業に取り組むことができる。(態)</li> <li>・慣れるに従い、作業効率の向上を図ることができる。(態)</li> <li>・意欲的に学習に取り組み、手順の定着を図る。(態)</li> <li>・自主的に場に応じて適切なコミュニケーションを図ることができる。(態)</li> <li>・より上手くできる方法を考え工夫して進めることができる。(態)</li> <li>・時間を意識しながら協力して作業に取り組むことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teamsに各種の作業見本動画を保存し、いつでも復習できるようにしておく。</li> <li>・実践では、タブレット端末のミーティング機能を活用し、指導者と現場とでやり取りを行う。</li> <li>・必要に応じ、その場で指示内容やルール理解、課題を確認するように言葉かけを行う。</li> <li>・作業評価シートを活用しながら、生徒の活動を評価し、個々の課題を明確にする。</li> <li>・課題の改善を効率良く行うためにクラス担任との連携を図る。</li> </ul>
		10		
		11		
		12		
後期	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業手順の理解や基本的技能の習得に関すること</li> </ul>	
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科	
教科・領域等名	職業に関する専門教科		クラス・グループ	
教科・領域等の目標	(1) 事務作業、情報処理に関することについて理解するとともに、関連する技能を身に付けるようにする。(知) (2) 事務作業、情報処理における課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。(思) (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。(態)		事務・情報処理	
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<p>・情報処理で取り扱う機器や技能など事務業務に関する基本的な知識や技能を身に付ける。(知)</p> <p>・事務業務において、依頼業務に応じるための必要な機器や作業手順、数量、必要な道具等を考え、実行する。(思)</p> <p>・事務業務の内容と情報処理について自ら学び、業務に主体的かつ協働的に取り組む。(態)</p> <p>・道具の基本的な取り扱いと手順を身につける。(知)</p> <p>・依頼内容に応じた道具の取り扱いができる。(思)</p> <p>・取り組みについての課題を発見し、改善しようとする。(態)</p> <p><b>【実務業務における各種目共通のねらい】</b></p> <p>・各作業種の手順や、使用する情報機器や道具、文具やの名称や安全な使用方法を覚える。(知)</p> <p>・様々な場面に即したルールや約束事を守りながら活動できる。(思)</p> <p>・安全を意識しながら取り組むことができる。(思)</p> <p>・場に応じた適切な言葉遣いを身につける。(思)</p> <p>・依頼内容を確認しながら入力作業や印刷、検品をすることができる。(思)</p> <p>・手順通りに進めることができ、正しい使用方法で情報機器や道具、文具を扱うことができる。(思)</p> <p>・学習を振り返り、情報機器の扱い方を見本や言葉で示しながら相手に伝えることができる。(思)</p> <p>・指示されたことを理解して対応することができる。(思)</p> <p>・依頼内容に合わせた用紙の選択や道具の選択、また管理方法を理解し、準備や片付けをすることができる。(思)</p> <p>・基準に沿って検品を行い、汚れや破れ、印刷ミスに気付いて教員に報告や相談をすることができる。(思)</p> <p>・決められた時間、休まずに集中して作業に取り組むことができる。(態)</p> <p>・意欲的に作業に取り組み、手順の定着を図る。(態)</p> <p>・自主的に場に応じて適切なコミュニケーションを図ることができる。(態)</p> <p>・より確実にできる検品方法を考え工夫して進めることができる。(態)</p> <p>・納品期日を意識しながら協力して作業に取り組むことができる。(態)</p>	<p>・PC 端末やタブレット端末を活用し、授業の流れや目標を毎時意識できるようにする。</p> <p>・モニター活用して効果的に情報を伝えられるようにする。</p> <p>・特別専門講師の指導や助言を積極的に引き出せるよう授業の雰囲気づくりを心がける。</p> <p>・PC 端末に各種の作業見本動画を保存し、いつでも確認できるようにする。</p> <p>・実務業務では、PC 端末のファイル交換機能を活用し、作業の進捗状況や作業記録を集約する。</p> <p>・必要に応じ、その場で指示内容やルール理解、課題を確認するように言葉かけを行う。</p> <p>・作業評価シートを活用しながら、生徒の活動を評価し、個々の課題を明確にする。</p> <p>・課題把握のために態度のチェックリストを用いて課題を把握し担任と連携を図る。</p>
		5		
		6		
		7		
		9		
後期	2学期	10	<p><b>【後期：2組】</b></p> <p>※取り扱う内容は1組と同様とする。</p> <p>○情報処理の内容と特徴に関すること</p> <p>・データ入力、入力操作</p> <p>・データ管理、保存</p> <p>・WiFi 接続・プリンタ接続</p> <p>・印刷機の点検・用紙設定</p> <p>・拡大、縮小印刷</p> <p>○事務作業の内容に関すること</p> <p>・ハサミ、糊練習</p> <p>・3つ折り</p> <p>・スタンプ</p> <p>・ラミネート</p> <p>・丁合・封入</p> <p>・検品</p> <p>○依頼業務</p> <p>・名刺作成</p> <p>・印刷</p> <p>○ビジネスマナー</p> <p>・挨拶</p> <p>・敬語、言葉遣い</p> <p>・文字の記入、訂正</p> <p>・報告、連絡、相談</p>	
		11		
		12		
	3学期	1		
		2		
		3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	音楽	クラス・グループ	1組		
教科・領域等の目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(知) (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思) (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱 ・校歌、学部共通曲など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付ける。(知)</li> <li>・正しい音程やリズムを意識して歌う。(思)</li> <li>・より良い音程や歌い方を探究しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○器楽 ・キーボードなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の名前や拍子、曲の背景を理解する。(知)</li> <li>・友だちと音の長さを合わせて演奏できる。(思)</li> <li>・準備や片付けを含め音楽活動に主体的に取り組もうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード他</li> <li>・ワークシート</li> <li>・音階のある楽器</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論 ・簡単な音楽用語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の中の音楽用語を覚える。(知)</li> <li>・楽譜上の音楽記号や音楽用語に興味をもつことができる。(思)</li> <li>・音楽用語を覚え、豊かな音楽表現しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮法（4拍子の指揮）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4拍子の指揮の振り方や指揮をする時の姿勢を覚える。(知)</li> <li>・指揮の振り方や指揮の姿勢を身に付け、音楽のイメージをもって演奏できる。(思)</li> <li>・拍を感じて主体的に音楽を表現しようとしている。(態)</li> </ul>	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞 ・夏の思い出など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞する際のマナーやルールを覚える。(知)</li> <li>・感想や気づいたことを言葉や文で表現できる。(思)</li> <li>・教員が指示したポイントを鑑賞しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱 ・学部共通曲など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい声、小さい声を使い分けて歌うことができる。(知)</li> <li>・リズムや速度、旋律を意識し仲間と声を合わせて歌うことができる。(思)</li> <li>・姿勢よく歌うことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・歌詞カード</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○器楽 ・キーボードなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜を覚えて演奏する。(知)</li> <li>・基礎的な奏法を身に付け、それらを生かして演奏できる。(思)</li> <li>・周りや音の移り変わりを合わせながら演奏しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード他</li> <li>・ワークシート</li> <li>・音階のある楽器</li> </ul>
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創作 ・3つの音の創作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を構成する要素についての理解を深める。(知)</li> <li>・伴奏に合う旋律を意識して創作する。(思)</li> <li>・決められたルールに従って作曲しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身体表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい振り、小さい振りを使い分けることができる。(知)</li> <li>・友達と一緒にタイミングを合わせて動くことができる。(思)</li> <li>・より良い表現を考え、取り組もうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> </ul>
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞 ・郷土の音楽 ・オーケストラの音楽</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の音楽やオーケストラ音楽に興味をもち、曲の背景や作曲者についての理解を深める。(知)</li> <li>・鑑賞で気づいたことを音楽活動に活かすことができる。(思)</li> <li>・様々な音楽を受け入れて集中して鑑賞することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	音楽	クラス・グループ	2組		
教科・領域等の目標	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(知) (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思) (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌、学部共通曲など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付ける。(知)</li> <li>・正しい音程やリズムを意識して歌う。(思)</li> <li>・より良い音程や歌い方を探究しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○器楽                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボードなど</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の名前や拍子、曲の背景を理解する。(知)</li> <li>・友だちと音の長さを合わせて演奏できる。(思)</li> <li>・準備や片付けを含め音楽活動に主体的に取り組もうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード他</li> <li>・ワークシート</li> <li>・音階のある楽器</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理論                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な音楽用語</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の中の音楽用語を覚える。(知)</li> <li>・楽譜上の音楽記号や音楽用語に興味をもつことができる。(思)</li> <li>・音楽用語を覚え、豊かな音楽表現しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>指揮法（4拍子の指揮）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4拍子の指揮の振り方や指揮をする時の姿勢を覚える。(知)</li> <li>・指揮の振り方や指揮の姿勢を身に付け、音楽のイメージをもって演奏できる。(思)</li> <li>・拍を感じて主体的に音楽を表現しようとしている。(態)</li> </ul>	
後期	2学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の思い出など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞する際のマナーやルールを覚える。(知)</li> <li>・感想や気づいたことを言葉や文で表現できる。(思)</li> <li>・教員が指示したポイントを鑑賞しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>
		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部共通曲など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい声、小さい声を使い分けて歌うことができる。(知)</li> <li>・リズムや速度、旋律を意識し仲間と声を合わせて歌うことができる。(思)</li> <li>・姿勢よく歌うことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・歌詞カード</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○器楽                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボードなど</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜を覚えて演奏する。(知)</li> <li>・基礎的な奏法を身に付け、それらを生かして演奏できる。(思)</li> <li>・周りや音の移り変わりを合わせながら演奏しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード他</li> <li>・ワークシート</li> <li>・音階のある楽器</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの音の創作</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を構成する要素についての理解を深める。(知)</li> <li>・伴奏に合う旋律を意識して創作する。(思)</li> <li>・決められたルールに従って作曲しようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身体表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい振り、小さい振りを使い分けることができる。(知)</li> <li>・友達と一緒にタイミングを合わせて動くことができる。(思)</li> <li>・より良い表現を考え、取り組もうとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の音楽</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の音楽やオーケストラ音楽に興味をもち、曲の背景や作曲者についての理解を深める。(知)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラの音楽</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞で気づいたことを音楽活動に活かすことができる。(思)</li> <li>・様々な音楽を受け入れて集中して鑑賞することができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末</li> </ul>	

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	1年・職能開発科	
教科・領域等名	美術		1組	
教科・領域等の目標	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。(知) (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思) (3) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(態)			
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等	
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッグの造形的な視点について理解するとともに、用途に応じて自分の表現方法を工夫・試行錯誤して表すことができる。(知)</li> <li>・バッグの造形的なよさや美しさ、バッグの用途や装飾などのデザインについて考え、それらの構想を練ったり、その他身につける物について見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思)</li> <li>・バッグ制作を通して、自分で制作した喜びを味わい、また披露し使うことで美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な色や柄のレジ袋、ゴミ袋、緩衝材、のり、はさみ、アイロン</li> </ul>
		5		
		6		
		7		
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の学習・アクリルガッシュの使い方(絵画)</li> <li>・モダンテクニックで画用紙に着色をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩原理について理解し、自分の表現に合わせて創造的に色彩表現ができる。(知)</li> <li>・それぞれの色彩の感じ方について考え、表現によって色彩の使い分けることや感じ方を深めたりすることができるようにする。(思)</li> <li>・色彩作品の制作を通して、日々の生活の中で活用し、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆、はさみ、アクリルガッシュ、歯ブラシ、金網</li> </ul>
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土の材料の特性について理解するとともに、用途に応じて自分の表現方法を工夫・試行錯誤して表すことができる。(知)</li> <li>・立体作品の造形的なよさや美しさ、また、力強さや動きなどを考え、立体作品のテーマを構想して制作することができる。(思)</li> <li>・立体作品の制作を通して、自分で制作した喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石粉粘土、カラーワイヤー、木の板、粘土ペラ</li> </ul>
		11		
		12		
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色について理解するとともに、自分の構想によって、染色の方法を工夫・試行錯誤して表すことができる。(知)</li> <li>・手ぬぐいのデザインにあった染色の表現を考え、染色方法を深めていく中で、自分で創造した表現をすることができる。(思)</li> <li>・手ぬぐい制作を通して、伝統工芸の技法を味わい、またその歴史を知ることを通して日本伝統工芸を愛好する心情を深める。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手ぬぐい、染料</li> </ul>
		2		
3				

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	1年・職能開発科
教科・領域等名	美術		2組
教科・領域等の目標	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。(知) (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思) (3) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(態)		
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッグの造形的な視点について理解するとともに、用途に応じて自分の表現方法を工夫・試行錯誤して表すことができる。(知)</li> <li>・バッグの造形的なよさや美しさ、バッグの用途や装飾などのデザインについて考え、それらの構想を練ったり、その他身につける物について見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思)</li> <li>・バッグ制作を通して、自分で制作した喜びを味わい、また披露し使うことで美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な色や柄のレジ袋、ゴミ袋、緩衝材、のり、はさみ、アイロン</li> </ul>
	5		
	6		
	7		
後期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩原理について理解し、自分の表現に合わせて創造的に色彩表現ができる。(知)</li> <li>・それぞれの色彩の感じ方について考え、表現によって色彩の使い分けることや感じ方を深めたりすることができるようにする。(思)</li> <li>・色彩作品の制作を通して、日々の生活の中で活用し、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆、はさみ、アクリルガッシュ、歯ブラシ、金網、等</li> </ul>
	10		
	11		
	12		
	1		
2			
3			
3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色について理解するとともに、自分の構想によって、染色の方法を工夫・試行錯誤して表すことができる。(知)</li> <li>・手ぬぐいのデザインにあった染色の表現を考え、染色方法を深めていく中で、自分で創造した表現をすることができる。(思)</li> <li>・手ぬぐい制作を通して、伝統工芸の技法を味わい、またその歴史を知ることを通して日本伝統工芸を愛好する心情を深める。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手ぬぐい、染料</li> </ul>
	2		
	3		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	保健体育		クラス・グループ		
1組・2組	1組・2組				
教科・領域等の目標	(1) 様々な運動を通して運動を楽しみ、心身の発育・発達・健康・安全に関する知識や技能を身に付ける。(知) (2) 運動や健康、安全についての課題を発見し、工夫したことを他者に伝える力を養う。(思) (3) 様々な運動を通してルールを厳守し、仲間と協力して競い合いながら健康・安全に留意し、自主的に組む態度を養う。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テスト</li> <li>・補強運動</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康、安全に留意して運動に取り組むことができる。(知)</li> <li>・体のバランスをとったり移動したりするとともに、適切に用具の操作などを行うことができる。(思)</li> <li>・健康、安全に留意して運動に取り組むことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・各種目用具他</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陸上競技                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・短距離走</li> <li>・ハードル走</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半身の動かし方や歩幅に留意して運動に取り組むことができる。(知)</li> <li>・短距離走やハードル走での自他の課題を発見し、よりよい走り方を考えることができる。(思)</li> <li>・決まりやルールを守り、場や用具の安全を確保しながら、自主的に運動に取り組む。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> <li>・各種用具</li> <li>・記録用紙</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水泳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール</li> <li>・平泳ぎ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい水中姿勢でスタートを行うことができる。(知)</li> <li>・正しい泳法の中で、タイミングを合わせて呼吸することができる。(思)</li> <li>・水中で安全に楽しく活動する態度を身につける。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定表</li> <li>・各種用具他</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病とその予防</li> <li>・心と身体の健康</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の原因や予防等の仕方を理解する。(知)</li> <li>・健康、安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と一緒に考えることができる。(思)</li> <li>・健康、安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病とその予防</li> <li>・心と身体の健康</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の原因や予防等の仕方を理解する。(知)</li> <li>・健康、安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と一緒に考えることができる。(思)</li> <li>・健康、安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○球技（ベースボール型）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・フットベースボール</li> <li>・ティーボール</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールの打ち方（蹴り方）、投げ方、捕り方を身に付け、試合で活用することができる。(知)</li> <li>・打球に応じた走塁ができる。(思)</li> <li>・ベースボール型の守備の役割が分かり、自分から取り組もうとする。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種用具他</li> <li>・ICT機器</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育理論                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの歴史</li> <li>・オリンピック</li> <li>・パラリンピック</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性、効果や安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付ける。(知)</li> <li>・スポーツの意義についての課題を発見し、解決のために仲間と一緒に話し合うことができる。(思)</li> <li>・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ダンス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的なリズムのダンス</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの楽しさや喜びを味わい、技能を身に付けることができる。(知)</li> <li>・提示された事例を参考に、自分の興味や関心のあったテーマや踊りを設定することができる。(思)</li> <li>・一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> </ul>
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○武道                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲等の動き（四股等）をすることができる。(知)</li> <li>・相手の動きに応じて、技を選択し、動くことができる。(思)</li> <li>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> <li>・各種用具他</li> </ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○武道                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲等の動き（四股等）をすることができる。(知)</li> <li>・相手の動きに応じて、技を選択し、動くことができる。(思)</li> <li>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> <li>・各種用具他</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○武道                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲等の動き（四股等）をすることができる。(知)</li> <li>・相手の動きに応じて、技を選択し、動くことができる。(思)</li> <li>・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすることができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器</li> <li>・モニター</li> <li>・各種用具他</li> </ul>		



令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	1年・職能開発科			
教科・領域等名	職業	クラス・グループ	1組・2組			
教科・領域等の目標	(1) 職業に関する事柄についての知識を身に付ける。(知) (2) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し実現する力を養う。(思) (3) 職業的な知識や経験を積み、将来の職業生活に向け工夫しようとする力や態度を養う。(態)					
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)				
前期	1学期	4	勤労の意義 自己理解 ・自己プロフィールづくり ・現時点の未来予想図を考える	自分の長所、短所について理解する。(知) ・なりたい自分を実現するために必要なことを考える。(思) ・必要な事柄について自ら知識を深めようとしている。(態)	・教科書 ・ワークシート ・ICT機器 ・DVD教材 ・職場見学日誌	
		5	○勤労の意義 働く意味について考えよう ・仕事とは? ・職場見学			・就労の必要性を知る。(知) ・実際の働く現場を見学し、仕事のやりがい等を聞き、自分の進路について考える。(思) ・卒業後の生活をイメージしようとしている。(態)
		6	○職業 就労に関わるルールやマナー ・挨拶、時間の意識 ・体調管理、身だしなみ ・公共交通機関のルール			・社会人として必要なマナーについて知る。(知) ・自分が重点的に意識したいマナーを考える。(思) ・学習したマナーを意識して行動しようとしている。(態)
		7	○勤労の意義 職種について ・仕事の種類や内容 ・適職診断			・それぞれの職種や仕事内容を知る。(知) ・自分の進路について考え、卒業後の生活をイメージする。(思) ・学習した内容から、自分の希望や考えをまとめようとしている。(態)
	9	○職業 ビジネスマナーについて ・仕事における報告、連絡、相談 ・メモの取り方 ・会話の基本、伝え方	・仕事を進める上で必要なスキルについて知る。(知) ・適切な言葉遣いや受け答えができる。(思) ・学習したスキルを意識して行動しようとしている。(態)			・教科書 ・ワークシート ・ICT機器 ・DVD教材 ・実習日誌
後期	2学期	10	○産業現場等における実習 インターンシップに関する学習 ・会社調べ ・目標と振り返り ・実習日誌の記入 ・面接練習	・体験する会社の概要を知る。(知) ・体験に向け、重点して頑張りたい自分の目標を考える。(思) ・目標に合わせて、行動や準備を進めようとしている。(態) ・体験した内容を踏まえ、自身の課題を整理しようとしている。(態)		
		11	○職業 仕事中のコミュニケーション ・立ち振る舞い ・丁寧な言葉 ・電話応対	・仕事を進める上でさらに必要なスキルについて知る。(知) ・場面に応じた適切な言葉遣いや受け答えができる。(思) ・学習したスキルを意識して行動しようとしている。(態)		
	3学期	12	○職業 自己理解を深めよう ・自己プロフィール、未来予想図の振り返り、更新	・一年間学習した内容を振り返る。(知) ・学習した内容を基に、自己プロフィールを更新することができる。(思) ・自己の課題や強みを整理することができる。(態)		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	1年・職能開発科			
教科・領域等名	家庭	クラス・グループ	1組			
教科・領域等の目標	(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知) (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(思) (3) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(態)					
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等			
前期	1学期	4 ○自分と家族について ・これまでの自分を振り返る。 ・これからの自分の暮らしや家族との関わりを考える。  5 ○日常的に使う衣類について ・快適な着用の仕方 ・衣類の手入れ  6 ○基礎縫いを使った作品製作 ・刺し子  7	・自分の成長と家族や家庭生活の関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解する。(知) ・家族とのよりよい関わり方について考え、表現する。(思) ・家族の一員として、自分の果たす役割を考え、実際に行動する。(態)  ・日常着の快適な着方、手入れの仕方などについて理解する。(知) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫する。(思) ・季節や衣類の素材等を判断して、着用や手入れを自ら実践する。(態)  ・布を用いて、目的に応じた基礎縫いや用具の安全な取り扱いができる。(知) ・布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫できる。(思) ・計画に応じて、適切な基礎縫いの技術を生かして活動する。(態)	・人の一生を考え、成長やこれからの家族との関わりをイメージしやすくする。  ・身近な衣類を参考にしたり、手入れをする体験をして、実際の生活に取り入れやすくする。  ・自分で計画することで手づくりの良さや愛着をもてるようにする。		
	後期	2学期	9  10 ○食事の役割 ・食事の役割と栄養について  11 ○日常食の調理 ・基礎的な主食や野菜を使った調理  12	・栄養素の種類と食品群を知る。(知) ・食品の栄養的特質について知る。(知) ・自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、課題を見つけることができる。(知) ・一日分の献立について考え、工夫できる。(思)  ・材料に適した加熱調理の仕方について知り、活用できる。(知) ・日常食の調理計画を考え、基礎的な調理技術を活用して調理する。(態) ・食品や調理用具等を安全と衛生を考え、取り扱うことができる。(思) ・用途に応じた食品選択ができる。(態)	・給食の献立を例にイメージしやすくする。  ・個々の実態に応じて支援する。	
		3学期	1	○住居の機能と安全な住まい方 ・家族の生活と住空間との関わり ・住居の基本的な機能 ・家族の安全や快適な住空間	・住居の基本的な機能を知る。(知) ・採光や空調の適切な調整方法を知る。(知) ・掃除道具の名称や各部屋掃除方法を知る。(知) ・基本的な道具の整理整頓の方法を知り、工夫する。(思) ・家族や自分のライフスタイルやライフステージに合った暮らしを考える。(思) ・住居の平面図や間取りを読み取ることができる。(思) ・家族や地域の人と適切に関わり、ルールを守って生活することを考える。(思) ・家庭ごみの正しい分別方法を知り、自ら実践する。(態) ・家庭内事故について知り、安全に過ごすための工夫を考える。(思) ・地震や火災などの災害に備えよう。(態) ・正しい防犯対策を知る。(知)	・将来の生活に近い住まいをイメージして身近に感じられるようにする。
			2			
3						

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級(類型)	1年・職能開発科		
教科・領域等名	家庭	クラス・グループ	2組		
教科・領域等の目標	(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知) (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(思) (3) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(態)				
単元(題材)名・主な学習内容		単元毎のねらい(評価の観点)	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分と家族について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの自分を振り返る。</li> <li>・これからの自分の暮らしや家族との関わりを考える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長と家族や家庭生活の関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解する。(知)</li> <li>・家族とのよりよい関わり方について考え、表現する。(思)</li> <li>・家族の一員として、自分の果たす役割を考え、実際に行動する。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生を考え、成長やこれからの家族との関わりをイメージしやすくする。</li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的に使う衣類について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な着用の仕方</li> <li>・衣類の手入れ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常着の快適な着方、手入れの仕方などについて理解する。(知)</li> <li>・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫する。(思)</li> <li>・季節や衣類の素材等を判断して、着用や手入れを自ら実践する。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な衣類を参考にしたり、手入れをする体験をして、実際の生活に取り入れやすくする。</li> </ul>
		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎縫いを使った作品製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布を用いて、目的に応じた基礎縫いや用具の安全な取り扱いができる。(知)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で計画することで手づくりの良さや愛着を持てるようにする。</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刺し子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫できる。(思)</li> <li>・計画に応じて、適切な基礎縫いの技術を生かして活動する。(態)</li> </ul>	
	9				
後期	2学期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の役割                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の役割と栄養について</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素の種類と食品群を知る。(知)</li> <li>・食品の栄養的特質について知る。(知)</li> <li>・自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、課題を見つけることができる。(知)</li> <li>・一日分の献立について考え、工夫できる。(思)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立を例にイメージしやすくする。</li> </ul>
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常食の調理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な主食や野菜を使った調理</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料に適した加熱調理の仕方について知り、活用できる。(知)</li> <li>・日常食の調理計画を考え、基礎的な調理技術を活用して調理する。(態)</li> <li>・食品や調理用具等を安全と衛生を考え、取り扱うことができる。(思)</li> <li>・用途に応じた食品選択ができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の実態に応じて支援する。</li> </ul>
		12			
	3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住居の機能と安全な住まい方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の生活と住空間との関わり</li> <li>・住居の基本的な機能</li> <li>・家族の安全や快適な住空間</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の基本的な機能を知る。(知)</li> <li>・採光や空調の適切な調整方法を知る。(知)</li> <li>・掃除道具の名称や各部屋掃除方法を知る。(知)</li> <li>・基本的な道具の整理整頓の方法を知り、工夫する。(思)</li> <li>・家族や自分のライフスタイルやライフステージに合った暮らしを考える。(思)</li> <li>・住居の平面図や間取りを読み取ることができる。(思)</li> <li>・家族や地域の人と適切に関わり、ルールを守って生活することを考える。(思)</li> <li>・家庭ごみの正しい分別方法を知り、自ら実践する。(態)</li> <li>・家庭内事故について知り、安全に過ごすための工夫を考える。(思)</li> <li>・地震や火災などの災害に備えよう。(態)</li> <li>・正しい防犯対策を知る。(知)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の生活に近い住まいをイメージして身近に感じられるようにする。</li> </ul>
		2			
		3			

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	職能開発科1年		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	1組		
教科・領域等の 目標	(1) ホームルーム活動を通して、集団として自主的かつ協力的に活動する態度を身につける。 (2) 自分の役割を理解し、クラスの一人としての自覚をもち、主体的に活動する力をつける。 (3) 委員会活動などを通して、集団の一人としてよりよい学校生活づくりに参画する。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を理解してすすめることができる。</li> <li>自ら考え、積極的に活動に取り組むことができる。</li> <li>学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器</li> <li>プリント</li> </ul>		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級活動（自己紹介・掲示物作成）</li> <li>○目標決め（学級目標、個人目標）</li> <li>○係活動決め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えていることをまとめ、相手に伝えることができる。</li> <li>お互いの意見や気持ちを考え、思いやって取り組めるようになる。</li> <li>自分の課題を知り、目標を設定することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付くことができるように助言する。</li> <li>生徒の実態に合わせて対応をする。</li> </ul>
		5	○クラス活動（クラスレクレーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いやクラス活動を通じて、お互いの意見を聞き協力して活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒主体で取り組めるように言葉かけをする。</li> </ul>
		6	○校外学習事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習先の地域について学ぶ。</li> <li>調べ学習を通して、見学先について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習を通して、活動の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
		7	○個人目標の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期の目標を振り返り、自分の成長したところと課題を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて助言を行う。</li> </ul>
	9	○目標決め（学級目標、個人目標） ○係活動決め	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの意見や気持ちを考え、思いやって取り組めるようになる。</li> <li>自分の課題を知り、目標を設定することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付くことができるように助言する。</li> <li>生徒の実態に合わせて対応をする。</li> </ul>	
後期	2学期	10	○移動教室事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動教室先の地域について学ぶ。</li> <li>調べ学習を通して、見学先の情報を理解する。</li> <li>移動教室での活動内容や役割を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習を通して、活動の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
		11	○クラス活動（クラスレクレーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いやクラス活動を通じて、お互いの意見を聞き協力して活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒主体で取り組めるように言葉かけをする。</li> </ul>
		12	○個人目標の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の目標を振り返り、自分の成長したところと課題を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて助言を行う。</li> </ul>
	3学期	1	○目標決め（個人目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題を知り、目標を設定することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付くことができるように助言する。</li> </ul>
		2	○生徒会選挙	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動や選挙の仕方について学び、各自が投票をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会の活動に主体的に取り組めるように助言をする。</li> </ul>
3	○1年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の振り返り、自分の成長と課題を明確にして、次年度への意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付き、1年間の振り返りができるように助言する。</li> </ul>		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	職能開発科1年		
教科・領域等名	特別活動	クラス・グループ	2組		
教科・領域等の 目標	(1) ホームルーム活動を通して、集団として自主的かつ協力的に活動する態度を身につける。 (2) 自分の役割を理解し、クラスの一人としての自覚をもち、主体的に活動する力をつける。 (3) 委員会活動などを通して、集団の一人としてよりよい学校生活づくりに参画する。				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
通年	○奉仕活動（委員会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を理解してすすめることができる。</li> <li>自ら考え、積極的に活動に取り組むことができる。</li> <li>学んだことを生かして次の課題にも取り組み、責任をもって最後まで役割を果たそうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器</li> <li>プリント</li> </ul>		
前期	1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級活動（自己紹介・掲示物作成）</li> <li>○目標決め（学級目標、個人目標）</li> <li>○係活動決め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えていることをまとめ、相手に伝えることができる。</li> <li>お互いの意見や気持ちを考え、思いやって取り組めるようになる。</li> <li>自分の課題を知り、目標を設定することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付くことができるように助言する。</li> <li>生徒の実態に合わせて対応をする。</li> </ul>
		5	○クラス活動（クラスレクレーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いやクラス活動を通じて、お互いの意見を聞き協力して活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒主体で取り組めるように言葉かけをする。</li> </ul>
		6	○校外学習事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習先の地域について学ぶ。</li> <li>調べ学習を通して、見学先について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習を通して、活動の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
		7	○個人目標の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期の目標を振り返り、自分の成長したところと課題を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて助言を行う。</li> </ul>
	9	○目標決め（学級目標、個人目標） ○係活動決め	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの意見や気持ちを考え、思いやって取り組めるようになる。</li> <li>自分の課題を知り、目標を設定することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付くことができるように助言する。</li> <li>生徒の実態に合わせて対応をする。</li> </ul>	
後期	2学期	10	○移動教室事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動教室先の地域について学ぶ。</li> <li>調べ学習を通して、見学先の情報を理解する。</li> <li>移動教室での活動内容や役割を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習を通して、活動の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
		11	○クラス活動（クラスレクレーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いやクラス活動を通じて、お互いの意見を聞き協力して活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒主体で取り組めるように言葉かけをする。</li> </ul>
		12	○個人目標の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の目標を振り返り、自分の成長したところと課題を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて助言を行う。</li> </ul>
	3学期	1	○目標決め（個人目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題を知り、目標を設定することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付くことができるように助言する。</li> </ul>
		2	○生徒会選挙	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動や選挙の仕方について学び、各自が投票をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会の活動に主体的に取り組めるように助言をする。</li> </ul>
3	○1年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の振り返り、自分の成長と課題を明確にして、次年度への意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の課題に気付き、1年間の振り返りができるように助言する。</li> </ul>		

令和6年度東京都立練馬特別支援学校年間指導計画

高等部		学年・学級（類型）	1年・職能開発科		
教科・領域等名	総合的な探究の時間	クラス・グループ	1組・2組		
教科・領域等の目標	(1) 身近な活動・集団から課題を見つけ、解決に必要な知識やスキルを身に付ける。(知) (2) 調べたり、知識を得たりしたことを整理し、まとめる。(思) (3) まとめたことを発表したり、他の人の意見を聞いたりする。(態)				
単元（題材）名・主な学習内容		単元毎のねらい（評価の観点）	指導の工夫及び活用する教材等		
前期	1学期	4	○安全に関する学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の通学路と同じ方面に下校する仲間を知る。(知)</li> <li>・交通ルールを正しく理解することができる。(知)</li> <li>・基本的な交通ルールをもとに、どう行動したらよいか場面ごとに考えたり話し合ったりする。(思)</li> <li>・自己の安全のために必要な行動をまとめて発表し、生活に活かすことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的に理解できるよう工夫する。</li> <li>・振り返りしやすいよう、視覚的教材を多く取り入れる。</li> <li>・ロールプレイを通して体験する。</li> <li>・ICT機器を活用し、写真や動画などを見ることでイメージしやすいようにする。</li> </ul>
		5	○防災に関する学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命を守るために必要な知識を身に付ける。(知)</li> <li>・発災時の身の守り方を知り、非常時における行動の仕方を体験する。(思)</li> <li>・宿泊防災訓練を通して、被災体験をし、同様に行動したらよいか自分の身になって考えることができる。(態)</li> </ul>	
		6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身を振り返り、自分の長所や苦手なことなどを知る。(知)</li> <li>・よりよい対人関係について知ることができる。(知)</li> <li>・自分の長所を伸ばしたり、苦手なことを補ったりするにはどうしたらよいか、友達と意見を交わすことなどを通して考えを深めることができる。(思)</li> <li>・人とかかわりについて日々の行動を振り返ったり、意見を交換したりできる。(思)</li> <li>・学んだことを日々の生活に活かすことができる。(態)</li> <li>・他者の発表や考えを認め合うことができる。(態)</li> </ul>	
		7	○自己・他者理解に関する学習		
		9			
後期	2学期	10	○自己・他者理解に関する学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身を振り返り、自分の長所や苦手なことなどを知る。(知)</li> <li>・よりよい対人関係について知ることができる。(知)</li> <li>・自分の長所を伸ばしたり、苦手なことを補ったりするにはどうしたらよいか、友達と意見を交わすことなどを通して考えを深めることができる。(思)</li> <li>・人とかかわりについて日々の行動を振り返ったり、意見を交換したりできる。(思)</li> <li>・学んだことを日々の生活に活かすことができる。(態)</li> <li>・他者の発表や考えを認め合うことができる。(態)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りやすいように、作品や発表を映像資料として残しておく。</li> <li>・ICT機器を活用し、写真や動画などを見ることでイメージしやすいようにする。</li> </ul>
		11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい対人関係について知ることができる。(知)</li> <li>・人とかかわりについて日々の行動を振り返ったり、意見を交換したりできる。(思)</li> </ul>	
		12	○人との関わりに関する学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい対人関係について知ることができる。(知)</li> <li>・人とかかわりについて日々の行動を振り返ったり、意見を交換したりできる。(思)</li> <li>・他者の考え方に触れ、自分自身の生活、家族や友達との関係に活かすことができる。(態)</li> <li>・他者の発表や考えを認め合うことができる。(態)</li> </ul>	
	3学期	1			
		2			
3					